



こと言の葉 kotonoha

築館高等学校 図書館だより
発行：令和元年11月1日
文責：司書 佐藤

11月は「霜月」、霜がおりるため、霜降り月と名付けられたのが変化したものとされています。そのほかにも霜見月、雪待月などとも言われます。季節や色など、日本ならではの美しい呼び方や言葉などがたくさんあります。みなさんも、「美しい日本語」についてもう一度調べて使ってみてはいかがでしょうか？ 普段の会話がまったく別のものになると思いますよ♪

特集 東京オリンピック・パラリンピックまであと少し！

ラグビー盛り上がっていますね！ 私もテレビの前で声をあげながら応援していました♪ その他にもバレーボール、フィギュアスケート、サッカー、テニス、陸上 etc. 日本人が世界で活躍する姿が多く見られるようになりました。何かと話題になっているオリンピックもあと少し。ルールなどがわかると、観戦ももっと楽しめますよ！



ラグビーも最初は何をしているのか全く分かりませんでした。ルールやチームの特徴など、少しでも知識があると面白さは倍増でした。トライ！！



オリンピック・パラリンピックも分る本

みなさん、オリンピックは何のために開催されるのか考えたことがありますか？
「平和の祭典」「文化の祭典」などとも呼ばれますが、それはなぜなのでしょう？
今回はそんな疑問にお答えする2冊を紹介します



『これがオリンピックだ
オリンピズムがわかる 100の真実』

舛本 直文 著
講談社 2018 発行

- Q いつ、なぜ始まった？
- Q 開会式でハトを飛ばすのはどうして？
- Q 競技以外はどんなことをしているの？
- Q 幻のオリンピックとは？
- Q 芸術も競技したってほんと？

聖火はいつかいつか



『12の問いから始める
オリンピック・パラリンピック研究』 かもがわ出版 2019 発行

坂上 康博 編著

- オリンピックって何だろう
- ふたつの折れ線グラフが示すものは？
- オリンピックレガシー（遺産）とはなんだろう。
- パラリンピックの方が数が多いものは？
- 未来のオリンピック・パラリンピックはどうあったらよいだろう？

オリンピック・パラリンピックの大目標を考えてみよう。



様々な情報を入手してから観戦してみよう！ 違う「きづき」があるかも……。

今年度の芸術鑑賞会は、10月17日（木）に狂言共同社（和泉流）の方々をお迎えし、日本の伝統文化である「狂言」を鑑賞しました。今回は文化庁より「重要無形文化財総合指定保持者」の認定を受けている2名を含む4名の方に公演をしていただき、普段では鑑賞することのできない素晴らしい舞台を観ることができました。

また、狂言の歴史や特徴などもわかりやすく説明をしていただき、より楽しく鑑賞することができました。



令和元年度 芸術鑑賞会 狂言「蝸牛」・「棒縛」

生徒体験のワークショップでは、6名の生徒がチャレンジしました。舞台には必ず足袋をはいて上がらなければならないということで全員足袋に履き替えています！

狂言の声の出し方の特徴、ゆっくり、はっきり、大きな声で、抑揚をつけて、「おはようございます」に挑戦しました。



【生徒の感想より】

- 現代とは違う言葉や発音に驚き、話の内容が難しくなる場面もありましたが、動きなどを見て理解を深めることができました。（1年生 女子）
- 蝸牛・棒縛が思った以上に面白くて、伝統文化に興味がわいてきました。（2年生 男子）
- 一つの舞台でセットが変更されないのに、演者の方の仕草が様々な風景を演出していて、思わず見入ってしまいました。（3年生 女子）



『本の返却忘れていませんか？』

次に読むのを待っている人のためにも返し忘れている本がないか確認してください。

期限がかなり過ぎている人にはおたよりで確認させていただきます。

